

理科の自由研究

のすすめかた



山形市理科教育センター

私たちの身の回りには、不思議なことや分からないことがたくさんあります。これらのことを調べようと思えば、本や図鑑などを見たりテレビやインターネットなどを使ったりして調べることができます。

しかし、その時は「わかった」と思ったことでも、改めて実際に自分で育てたり、実験をしてみたりすると、まだまだ「不思議や分からないこと」がたくさんあることに気づくものです。こうした疑問を自分の手足や五感を使って自分の力で調べてみることはとても楽しいものです。これらの「不思議や分からないこと」をじっくりと調べるのに夏休みや冬休みのような長い休みは絶好のチャンスです。

この自由研究の手引きを参考に、研究の計画を立ててとり組んでみましょう。夏休みの後には、各学校や山形市全体で、理科研究作品展や理科研究発表会などがあります。ぜひがんばって研究にとり組み参加してみましょう。

1. 研究題をみつけよう

むずかしく考えず、身近なものに目を向けて、最後まで楽しく実験観察のできる研究題（テーマ）を見つけてみましょう。

（1）学校での学習の中からさがしてみる

・教科書で習ったことや、今勉強していることをさらにくわしく調べてみる。

（2）毎日の生活の中からさがしてみる

・日頃から疑問に思っていることをくわしく調べる。

（3）自然の中からさがしてみる

（4）過去の作品展や研究発表からさがしてみる

・市作品展や研究発表の内容をもっと発展させる（資料は学校にあります）。

（5）飼育、栽培、採集をとおしてすすめてみる

・長期間の継続観察をまとめる。

（6）物を作ることから進めてみる

・キットではなく、材料を集めて作ってみましょう。物作りは研究の基礎、始まりです。うまくできるように工夫することは立派な研究です。

～ ヒント ～

- ・外に出てみる、身の回りをよく見つめる、テレビを見してみる、博物館ガイドを参考に
する、体験活動へ参加してみる、色々な人に聞いてみる、本やインターネットから、
台所から、興味あることなどからさがしてみる。
- ・あたりまえだと思わない。（どうして？ なぜ？ 不思議だなあ……）
- ・研究をすすめるのに、季節や時期はあっているだろうか。
- ・材料は簡単に手にはいるだろうか。（必要な量と予備の分）

***テーマを選ぶときに気をつけたいこと**

- ・自分の力で研究がすすめられるもの。
- ・危険性のないもの。
- ・研究のすすめ方に見通しのあるもの。
- ・材料のそろうもの。
- ・身近な実験器具が使用できること。(場合によっては学校の備品を借りられるか確認)
- ・薬品は先生の許可を得ること。
- ・研究の中身がわかる研究題を考える。 例「～の～について」「なぜ～の～は～なのか」

※テーマについては、先生やお家の方にも相談してみよう。

***図書館などで本を探すときは**

- ・まず、子どもコーナーへ行ってさがしてみましょう。
- ・パソコンでさがすこともできます。(本の名前やキーワードで)
- ・分からないときは司書さん(図書館の人)にたずねてみましょう。

2. 研究をすすめよう

(1) 疑問点をはっきりさせよう(研究の目的をきめる)

- ・何を調べたいのか、何を知りたいのかをはっきりさせる。

(2) どうなるのか予想をしてみよう(仮説を立てる)

- ・ひとりよがりにならないように注意しよう。
- ・研究の幅を広くし、研究のヒントを得るためにまずは、自分でよく考える。
人に聞いたり本で調べたりしてみる。予備実験を行い、見通しをたてる。

(3) 研究の計画をたてよう(研究の日程表の作成)

- ・「何を、いつまでに、どの部分まで」など、細かなステップを作ろう。
無理のない、ゆとりを持ったスケジュールをたてる。まとめの日程も十分に確保する。

(4) 実験・観察の方法を考えよう(研究の方法の工夫など)

- ・調べること、観察すること、実験することなどの順序を整理しよう。
- ・どんな道具が必要か考えよう。(実験道具は創意工夫で)
- ・どんな実験をすればよいか考えよう。(実験・観察は条件を考える)
- ・記録の取り方はどうすればよいか考えよう。

- ・観察・実験などに必要な物をそろえよう。
道具が手に入らない時は、代わりの物をさがそう。(家にはないかな?)
- ・実験材料は、失敗したときのことを考え余裕をもった量を準備しよう。
特に、生物の飼育栽培などの研究の場合は注意しよう。
- ・実験を開始しよう。
一度だけでなく、何度も同じ観察・実験をして記録をとろう。
あれこれ試してみることも必要な場合があります。
- ・ノートを一冊用意して細かに記録しよう。
実験データ、感想、本で調べたこと、新聞の切り抜きなど、研究に関したことを全て集め、まとめておく。
- ・「安全」には十分注意しよう。
道具類の使い方……正しい使い方、整理整頓、安全の確認、やけど、切り傷、刺し傷
打撲等に注意
火気の使い方……大人と一緒に実験しよう。
燃えやすい物が近くにないか。
換気はよいか。(空気の入れ換え) 爆発や引火には特に注意。
薬品使用の注意……使用方法と使用量を守る。
あやまって手や目、顔などについた場合はどうしたらよいかを前もって調べておこう。

(5) 記録・表現の方法を工夫しよう

- ・目的にあった記録をとる。(記録は正確に事実を記録する)
一回の記録だけでなく、数回の記録をとりより確かな記録とする。
- ・データは正確に記録しよう。(予想外のデータでも大事にしよう)

～ ヒント ～

*フィールドワークや観察・実験をするときは

- ・目的と調べたいことを明らかにしたうえで、変わっていくようすをしっかりとみよう。
- ・みたり、さわったり大きさや重さを調べたりして、記録をとろう。
- ・色々と方法を変えて、観察・実験をすることもとり入れてみよう。
- ・実験する前に予想を立てて、結果と比べてみると考えが深まります。
- ・実験は1回だけでなく、何回か繰り返し正確な結果を出そう。
- ・観察・実験でわかった事実と、自分の考えや思ったことは分けて記録しよう。
- ・火や薬品を使う実験や遠くに出かける観察の時は、家の人とよく相談して行おう。

(緊急の場合の連絡方法の確認)

***写真や動画、音声を記録するときは**

- ・みたことや調べたことを、写真や動画として撮影したり、音声を録音したりしておく
と、まとめや発表の時に役立ちます。
- ・デジタルカメラやビデオカメラの他に、学校で貸し出しをしているタブレット端末に、
カメラ機能や録音機能がついています。有効に活用しましょう。
- ・撮影する時は、機材がぶれないように持つ。場合によっては三脚を使うとよい。
- ・相手がある場合は、撮影の許可をとってから行います。

***インターネットで調べるときは**

- ・ホームページにのっていることが、すべて正しいとは限りません。複数のサイトを見比
べて確認することや、情報が信用できるサイトを探すこと、本や図鑑と内容を照らし合
わせるなどして、その情報が正しいかどうか、自分で判断できるようにしましょう。
- ・インターネットで手に入れた情報は、勝手に使うことができない場合があります。扱う
ときは十分に注意しましょう。
- ・情報を得たサイトのURL (https:// で始まるもの) とホームページの名称を記録して
おき、参考資料として明記する。

3. 研究のまとめを工夫しよう

(1) 研究のあゆみや考えの変化がわかるようにまとめよう

まとめるもの タブレット端末に入っているアプリ (ワード、エクセル、パワーポイント)
レポート用紙、原稿用紙、スケッチブック、アルバム、大判用紙、など。

(2) 事実と考察をしっかり区別しよう

- ・データを正確に読み、よく考察する。(大切なことを見逃さない)
- ・データは予見を持って改ざんしない。

(3) 研究内容がだれにでもわかる表現の工夫をしよう

内容のまとめ方の例

◇動 機 … なぜその研究テーマを選んだのか。

◇目 的 … 何を調べようとしたのか。何をはっきりさせたいのか。

◇内 容 … 何を調べるために。

どんな道具を使って、どんな方法で観察・実験をしたのか。(くわしく)

◇まとめ … 実験・観察から、分かったこと感じたこと、発見したこと、まだよく分からな
いことは何か。

◇今後の課題 … まだ分からないこと、もっと調べたいこと、失敗や苦労など

4, こんなまとめ方にしよう

(1) 調べたことが、見る人・聞く人によくわかるようにまとめよう。

- ・実験や観察の経過や結果がよくわかるようなまとめ。
- ・条件の統一や実験の回数なども忘れずに書く。
- ・実験や観察のすすみぐあいが研究のねらいにあうようにまとめ。
- ・ていねいできれいなまとめ（文字や図やグラフなど）。
- ・表やグラフの効果的なまとめ（見てわかるまとめ、読んでわかるまとめ）。
- ・写真を効果的に活用したまとめ。
- ・作品の文章中に商品名が入らないように注意する。
- ・苦心したことや失敗したことも書く。
- ・製作した実物や標本、模型などがあったら一緒に展示する。
- ・誤字脱字がないかよく見直す。

(2) 標本を作る時には、こんなことに気をつけよう。

- ・ねらいをもった標本づくり。
- ・分類（仲間分け）のものさしをもつ。

例 葉の形、葉の付き方、茎の形、集めた場所や地域など

- ・標本は正しく、ラベルは正しい書き方で。
- ・標本採集は、根、茎、葉、花（実）もしっかりと採取する。
- ・観察は、目につきやすい所から細かいところへ行う。
- ・採取が禁止されている物もあるので、事前に確認しておく。

(3) 観察日記の場合は、こんなことに気をつけよう。

- ・月、日、天気、温度を書く。
- ・図や絵を書き入れる。（くわしく）
- ・色、形、大きさ、数、などを見て書く。
- ・わかったこと、気づいたこと、感じたことを書く。

※ 研究やまとめの参考にした、本・印刷物・ホームページ等は最後に明記する。

〈例〉 参考図書 「たのしい科学あそび」 福嶋葉子著 東陽出版株式会社

完成したら、身近な人に読んでもらったり聞いてもらったりして、アドバイスしてもらおう。きっとよい意見をもらえますよ。

*** 自由研究の参考資料 ***

- ・「自然の観察」～山形市小・中学校児童生徒理科研究発表会より～ 山形市理科教育センター刊
 - ・山形市小学校児童理科研究発表会発表要項 山形市理科教育センター刊
 - ・山形市中学校生徒理科研究発表会発表要項 山形市理科教育センター刊
- 以上の資料は毎年山形市理科教育センターで刊行しており、市内の各小・中学校に配っています。参考にする場合は、担任の先生や理科の先生に相談して見せていただきましょう

* 研究題の例 *

令和7年度「自然の観察」〈第40集〉より

◇小学生のテーマ例

- ・色と水分で温度はどう変わる？
- ・いろんなものでドレミ ～素材を変えると音はどうなる～
- ・透明な氷を作る研究 Part 2
- ・メダカの適応力と記憶力 迷路編
- ・SDG s！身近にあったフリー素材 ガマの穂の利用を考える Part2
- ・“カワセミ先生直伝！新幹線の形のヒミツ ～手作り風洞で比べてみた！～”
- ・二ホンミツバチのふしぎ
- ・ペットボトルロケットを遠くに飛ばすには？
- ・夕焼けはなぜ赤いのか
- ・セミの翅脈の中には、どのくらいの体液が入るのか？
- ・“梅シロップの科学 ～浸透圧がもたらす細胞の変化と抗菌作用、そしてSDG s への発展～”
- ・おから電池 2.0 ～3つの組み合わせの探究～



◇中学生のテーマ例

- ・PGA の効果的な抽出法を探る ～納豆からプラスチック！？～
- ・木材の厚さと強度の関係の研究
- ・発芽に光は必要か
- ・定規を弾いた音はなぜ変わる？ ～音の高さと長さの関係とは～
- ・より冷え～る、なが～く使える瞬間冷却パックを作る
- ・温室効果を高めるために
- ・簡単にきれいに汚れが落ちる洗濯洗剤について
- ・ろ過と加熱による水質の変化
- ・藤沢川の研究について
- ・バイオエタノールの作成
- ・都市鉱山から金属を抽出してみよう ～PC 基盤から金を抽出する～
- ・浸透圧発電とは